

2021-22年度RIテーマ
Serve to Change Lives
奉仕しよう みんなの人生を
豊かにするために



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

RI会長:シェカールメータ

TAKEHARA ROTARY CLUB WEEKLY BULLETIN 竹原ロータリークラブ週報

会長	福本 博之	会計	久藤 孝仁
会長エレクト	板場 英行	副会計	大森 寛
幹事	宮本 和彦	S A A	宇都宮勝博
副幹事	三好 静子	副S A A	野田 真治
			直前会長
			管理運営
			会員組織
			奉仕

事務局/〒725-0021竹原市竹原町3591
TEL/0846-22-7570 FAX/0846-22-7651
E-mail/rc-take@estate.ocn.ne.jp
http://www.takehara-rc.com

例会日/毎週木曜日12:30~13:30
例会場/大広苑 TEL(0846)-22-2970

本日のプログラム 6月2日

誕生祝・各会員各記念日祝
誕生月該当者会員卓話

次週のプログラム 6月16日

次年度クラブアッセンブリー

【2022年5月26日 第2736回 例会記録】

- 点 鐘
- ロータリーソング:我等の生業
- 4つのテスト:中川 康子会員
- 食事:100万ドルの食事
- 会員数:13名(免除者:0名)
- 出席者:11名 □欠席者:1名
- メイク:1名 □出席率:92.3%

各会員各記念日(6月)

- 結婚記念日 宇都宮勝博
- 配偶者誕生日 久藤 孝仁
木村 安伸

スマイルBOX

- 特別スマイル
- ・米山奨学生を迎えました。初めての経験で“ちむどんどん”しましょう。(宮本和彦)

幹事報告

【幹事 宮本 和彦】

- ・5/28ANAクラウンプラザホテル広島で開催される2021-22年度地区大会会長幹事会へ会長・幹事、中川ガバナー補佐の3名で出席します。
- ・6/2は米山奨学生丁様が例会出席されます。

会長の時間



【会長 福本 博之】
皆様、こんにちは。本日のプログラムは次年度クラブアッセンブリーがあります。今年度も残りひと月となりました。少しずつ通常モードに戻ってきている形ではあります。来年度こそは今までできなかった活動を復活させ、竹原ロータリークラブの魅力アップを図り、会員増強に力を合わせて邁進できればと思っております。

委員会報告

□ロータリー財団委員会 委員長 大森 寛
本日は100万ドルの食事です。全世界のロータリアンである100万人の会員が食事代1\$を削って寄付をすれば100万\$になるということで100万ドルの食事と言われてると聞いております。次年度は一人当たり150\$、20,000円のご出宝をお願いしたいと思いますので宜しくお願いします。財団寄付(年次寄付、ベネファクター)いつでも受付しておりますので皆様の御協力よろしく申し上げます。

□次年度幹事 木村 安伸
例会前に次年度理事役員会を開催し、次年度について承諾頂きましたのでご報告申し上げます。

次年度クラブアッセンブリー

2022-23年度クラブ運営方針が発表されました。



会長エレクト 板場 英行
2022-23年度ジェニファー・
ジョーンズRI会長のテーマ
は「Imagine Rotary」です。
ジョーンズ会長は、「私たち
には皆、夢があります。

しかし、そのために行動するかどうかを決めるのは私たちです。想像してください。私たちがベストを尽くせる世界を。私たちは毎朝目覚めるとき、その世界に変化をもたらせると知っています」と世界中のロータリアンに呼びかけ、世界にもたらせる変化を想像して大きな夢を描き、その実現のためにロータリーの力とつながりを生かす重要性を強調されています。

RI会長テーマを受け、2710地区石川良興ガバナーの地区運営方針は、ガバナー信条「人生100年時代に向けて健康寿命を延ばそう～がん・生活習慣病の予防～」とされ、重点運営方針として、「健康寿命延伸による5大奉仕と7つの重点分野（注：会員増強、退会防止対策、ローターアクト・インターアクト育成、ロータリー財団支援、米山記念奨学会支援、DX.デジタル・トランスフォーメーション推進、マイロータリー100%達成）の遂行」、「DEI（Diversity：多様性、Equity：公平さ、Inclusion：インクルージョン、開放性、包括）への取り組み」を掲げられています。

我が国は世界有数の長寿国ですが、日常生活に何らかの制約が関与する平均寿命と元気に自立して過ごせる期間である健康寿命との差は、全国平均で男性約9年、女性約12年ですが、広島県の女性は約14.9才で全国43位（令和元年調査）となっています。がん・生活習慣病の予防を根幹とした健康寿命の延伸に向け、県市町村はもとよりクラブとしての取り組み、また個人レベルでの意識改革が重要です。5年前にクラブとして、がん予防に対する活動を行いました。本年度再度の啓発活動を図りたいところです。

2022年度RI研修リーダー服部陽子氏は、クラブ行動計画における戦略的優先事項として、①より大きなインパクトをもたらす ②参加者の基盤を拡げる ③参加者の積極的な関わりを促す ④適応力を高める を指摘されています。3年間のパンデミックを経験し、一時的停滞を余儀なくされたロータリー活動ですが、今一度クラブ活動の原点と優先する行動戦略を再考し、クラブ内外における諸活

動において、ロータリアンとして共通の心（奉仕の心）で繋がり、同じフロアスタンスに立って、変化を受け入れ他者を思いやる「心」と「力」を想像（創造）する起点の年となれば幸いです。数的マンパワー基盤が弱体化傾向の本クラブですが、2022～23年度のクラブ活動は、過去3年間のパンデミックからの脱却を主眼とした「通常活動回帰」をテーマとして、全会員参加による実現可能な活動の遂行、実施を目指したいと考えます。具体的には、会員の積極的な参加を基盤とした例会の充実、親睦（新入会員、家族、3クラブ合同例会での親睦を含む）の促進、クラブおよび個人での奉仕活動推進、新規会員の入会促進、DEIの理解と普及、米山奨学生の支援、がん・生活習慣病予防の啓発です。

次年度理事会報告

□日 時 令和4年5月26日（木）

□場 所 ホテル大広苑

□出席者 7名

□議 題

①次年度について

クラブ会長運営方針

委員会活動計画

行事予定

予算

会計（理事）及び委員会構成

承認